

平成30年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	塙田武弘
全体計画				経費区分		—		内線		245-0784	
事務事業名 4311 図書館管理運営事業											
所 属 130500 社会共創部・生涯学習スポーツ課											
施 策 04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしたまちづくりの推進											
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	100603 教育費・社会教育費・図書館費									
	事業	020000 図書館管理運営事業									
事業目的				事業概要・効果							
生涯学習の一環として、市民誰もが気軽に利用できるよう図書館事業を推進する。				<ul style="list-style-type: none"> ・対象を明確にした講座等を開催し、利用者の拡大に努めた。 ・利用者の利便性を高めるため旧職業訓練校を活用することにより館内レイアウトを変更した。 							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等	図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等
平成29年度 実績	平成30年度 予定
図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等	図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等
平成31年度 予定	平成32年度 予定
図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等	図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等

指標名	年間入館者					単位	人			
算式	年0.5%の増									
年度	平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度				
目標値	目標									
	実績									
指標選定の理由	多くの方に利用していただくことが重要であるため。									
最終年度目標の根拠	平成26年度利用者数（115,105人）より、年0.5%ずつの増									
指標名						単位				
算式										
年度	平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度				
目標値	目標									
	実績									
指標選定の理由										
最終年度目標の根拠										
指標名						単位				
算式										
年度	平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度				
目標値	目標									
	実績									
指標選定の理由										
最終年度目標の根拠										

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		47,307	47,961
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	72	209
一般財源		47,235	47,752
人 員 数 (人)	正規職員	0.6	0.4
	嘱託職員	5.8	6.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,289.4	2,859.6
人 員 コス ト	正規職員	16,042.8	16,596.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	計	20,332.2	19,455.6
	市民一人当たりの経費	1.3	1.3
総額		67,639.2	67,416.6

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	170	講師謝礼及びボランティア団体への謝礼170
11節 需用費	3,715	消耗品費713、燃料費27、食糧費20、光熱水費2,417、印刷製本費195、修繕料343
13節 委託費	3,441	清掃業務131、警備保障279、機械設備等保守点検1,920、シルバーパートナーセンター等370
15節 工事請負費	629	郷土資料室改修488、文庫本コーナー改修141
19節 負担金補助及び交付金	341	県図書館協会公共図書館部会及び支部、須高図書館協会、日本図書館協会、会議等出席負担金
その他	39,011	報酬14,343、役務費358、使用料及び賃借料6,935、備品購入費等11,998

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	3,476	保守点検委託料1,929、施設管理委託料410ほか
15節 工事請負費	873	館内設備改修692
19節 負担金補助及び交付金	349	須高図書館協会負担金295
その他	43,263	図書購入費13,000、機器賃借料5,512

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るために市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市立須坂図書館設置条例に基づき設置・運営している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	施設の老朽化・狭隘化はあるが、施設内部改修を図るなど、利用者の利便性に立った運営に努め、市民の生涯学習に役立つ事業の推進をしている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	利用者の利便性に立った効率的な運営に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設の老朽化・狭隘化が否めない中、フロアの改修により場所の移動などを行い、利用者の利便を図り、効率的な運営に努めている。資料の充実や、関係団体と連携しソフト面でのサービス向上を図っている。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	2次評価	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント		
・関係施設やボランティア団体等と連携を図りながら事業展開をし、更なる市民サービスの充実に努めいく。		・利用しやすく、居心地の良い図書館に向け引き続き改善を進める。 ・他施設、関係機関と連携し、市民が本に親しむ機会の拡大に努める。		

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント